

令和 6 年度 決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和 7 年 8 月

輝く鳥取創造本部 中山間・地域振興課

目 次

1 前年度監査委員指摘事項等に対する措置等	1 頁
○ 定期監査	
(1) 勧告事項	
(2) 指摘事項	
(3) 監査意見	
○ 決算審査監査意見	
2 職員の定員、現員調べ	2 頁
3 役付職員の調べ	2 頁
4 決算資料	3 頁
5 事業別実施状況調べ	3 頁
6 主な事業に関する調べ	6 頁
7 現金の取扱状況	該当なし
(1) 現金取扱状況	
(2) つり銭の状況	
8 財産に関する調べ	6 頁
(1) 公有財産	
(2) 金券類の保有状況	
(3) 基金	
(4) 債権	
9 財産の貸付け及び使用許可調べ	該当なし
(1) 土地及び建物	
(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
10 借受不動産明細調べ	該当なし
11 寄附物件の受納状況調べ	該当なし
12 備品の処分状況調べ	該当なし
13 貸付金等状況調べ	該当なし
(1) 総括表	
(2) 償還状況	
14 税外収入未済額調べ	該当なし
15 歳入欠陥に関する調べ	7 頁
○ 重点事項に関する項目	8 頁
○ 意見、要望等	8 頁

1 前年度監査委員指摘事項等に対する措置等

○ 定期監査

(1) 勧告事項 該当なし

(2) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>＜支出負担行為の事務手続について＞ 鳥取県まちなか暮らし総合支援補助金について、支出負担行為の事務手続が遅延していた。</p>	<ul style="list-style-type: none">・事務監査後、現担当者（当該補助事業の後任主事）が定期監査の指摘内容について、課内全員に共有し、今後の再発防止に向け注意喚起を行った。・令和6年7月8日開催の「会計事務マネジメント力向上研修会」に総括課長補佐、令和6年9月19日開催の「令和6年度会計リテラシー研修会」に現担当者が出席し、研修内容について、課内全職員に復命し、会計事務のポイントの周知や不適切事案への対策の理解を深めた。・電子決裁の進め方として、課内職員が相互に内容の確認を行うとともに、課長補佐が確認した後、課長が決裁することを徹底するようしている。

(3) 監査意見 該当なし

○ 決算審査監査意見 該当なし

2 職員の定員、現員調べ

(4月1日現在)

種別 区分	事務職員	技術職員	現業職員	合 計	会計年度 任用職員	臨時的 任用職員	備 考
定 員 (A)	(7) 7	(1) 1	()	(8) 8	(1) 1	()	
現 員 (B)	(7) 7	(1) 1	()	(8) 8	(1) 1	()	会計年度任用職員 一般事務 1名
内 育児休業等	()	()	()	()	()	()	
過不足 (△) (B - A)	(0) 0	(0) 0	()	(0) 0	(0) 0	()	

3 役付職員の調べ

(8月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
輝く鳥取創造本部長	鈴木 俊一	年 月 1	
中山間地域振興局長	野坂 明正	4	
中山間・地域振興課 課長	小堀 陽平	1	
課長補佐	(兼) 大谷 武彦	2	政策統轄総局政策統轄課 課長補佐
課長補佐	河上 久美	4	
課長補佐	(兼) 小島 紀代	2	政策統轄総局政策統轄課 課長補佐

4 決算資料

(1) 一般会計（歳入・歳出）

別添「歳入決算調書」及び「歳出科目別決算調書」のとおり

5 事業別実施状況調べ

(単位：円、%)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計 A					
(自治振興費) (主)みんなで 支える買物安心 確保事業	200,000,000	-70,000,000			130,000,000	95,438,000		34,562,000	73%	主な事業に関する調べのとおり 【不用になった理由】 当初予定していたよりも補助 金の執行件数が少なかったため。
中山間・地域振 興課管理運営費	5,440,000			6,000	5,446,000	5,446,000		0	100%	(農山漁村滞在促進事業から 流用) 中山間地域に係る施策の検討 や国・各県・市町村等との連 絡調整を行った。
農山漁村滞在促 進事業	7,279,000	-5,000,000		-6,000	2,273,000	915,300		1,357,700	40%	(中山間・地域振興課管理運 営費へ流用) 農泊事業者1者に対し農泊体 験メニュー創造等の経費を支 援するとともに、農泊セミ ナーを開催した。 【不用になった理由】 当初予定していたよりも補助 金の執行件数が少なかったため。
中山間地域に關 わる担い手確保 育成事業	45,271,000	-18,000,000			27,271,000	22,225,545		5,045,455	81%	地域おこし協力隊のサポート 事業や、住民主体による共助 の体制づくりを支援し、ま た、特定地域づくり事業協同 組合が存在する3町（若桜 町、智頭町、日野町）の事業 実施に対して支援した。
(主)安心して 住み続けられる ふるさとづくり 推進事業	100,000,000	-60,000,000			40,000,000	25,809,000		14,191,000	65%	主な事業に関する調べのとおり 【不用になった理由】 当初予定していたよりも補助 金の執行件数が少なかったため。

(単位：円、%)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支 出 及 び 流用増減	計 A					
空き家利活用等 推進事業	38,500,000				38,500,000	27,152,230		11,347,770	71%	市町村に空き家利活用流通促進事業では計40件、空き家の魅力普及促進事業では計4件支援した。また、空き家活用事例集を作成し、県民等に対し広く周知をした。 【不用になった理由】各市町村が見込んだ当初の計画に対し実績が少なかったため。
空き家除却等支 援事業	47,100,000				47,100,000	37,016,250		10,083,750	79%	市町村に対し、老朽危険空き家等の除却や、まちづくりの計画を推進する目的で空き家等を除却する際の事業経費を支援した。 【不用になった理由】各市町村が見込んだ当初の計画に対し実績が少なかったため。
目 計	443,590,000	-153,000,000	0	0	290,590,000	214,002,325	0	76,587,675	74%	
(交通対策費) (主) コミュニ ティ・ドライ ブ・シェア(鳥 取型ライド・ シェア)推進事 業	452,669,000			-4,902,000	447,767,000	403,258,190		44,508,810	90%	(交通政策課：鳥取型地域交通MaaS推進事業へ所管替配 当) 主な事業に関する調べのとおり 【不用になった理由】各市町村が見込んだ当初の計画に対し実績が少なかったため。
目 計	452,669,000	0	0	-4,902,000	447,767,000	403,258,190	0	44,508,810	90%	

(単位：円、%)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支 出 及 び 流用増減	計 A					
(建築指導費) 空き家対策推進 事業	(1,499,000) 1,499,000				(1,499,000) 1,499,000	(1,059,850) 1,059,850		(439,150) 439,150	71% 71%	若桜町に対して、略式代執行 に係る除却支援を行った。
目 計	(1,499,000) 1,499,000	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1,499,000) 1,499,000	(1,059,850) 1,059,850	(0) 0	(439,150) 439,150	71% 71%	
合 計	(1,499,000) 897,758,000	(0) -153,000,000	(0) 0	(0) -4,902,000	(1,499,000) 739,856,000	(1,059,850) 618,320,365	(0) 0	(439,150) 121,535,635	84%	

6 主な事業に関する調べ
別紙のとおり

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア～ケ 該当なし

コ 出資による権利

(ア) 異動状況

(3月31日現在)

区分	前年度末 (金額)	本年度中		本年度末 (金額)	法人名	出捐目的 ・事業内容	備考
		増	減				
出捐金	5,000,000 円	0	0	5,000,000 円	(一財) 地域活性化センター	【出捐目的】地域振興の推進に寄与するため 【事業内容】地域社会活性化のための諸活動を支援する。	
合計	5,000,000 円	0	0	5,000,000 円			

(イ) 活用・運用状況 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

	種別				
	(有)	郵便切手	郵便はがき	収入印紙	乗車券類
有		・	・	・	タクシーチケット
無					・ その他 ()

イ タクシーチケットの保有状況

(3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
0 枚	70 枚	15 枚 23,670 円	55 枚

15 歳入欠陥に関する調べ

(単位：円)

事業名	区分	国庫支出金	起債	その他	一般財源	合計	歳入欠陥となった理由
みんなで支える買物 環境安心確保事業 (先導的買物環境整備事業)	当初見込額 A	4,007,000			47,287,000	51,294,000	事業の性質上、市町村・事業者が3月末まで実施する事業が多く、国の交付金の規程（補助金については3月末までに支出済であること）に合致しなかったため
	実績額 B	0			51,294,000	51,294,000	
	差引 (B-A)	-4,007,000	0	0	4,007,000	0	

○ 重点事項に関する項目〔テーマ：物品の管理について〕

(1) 施設外に持ち出して使用する備品の保有状況 (7月1日現在)

有 無

(2) 小型電子機器等の保有状況 (7月1日現在)

対象	保有	対象	保有	対象	保有	対象	保有
デジタルカメラ	<input checked="" type="radio"/>	ビデオカメラ		ICレコーダ	<input checked="" type="radio"/>	携帯電話	
タブレット端末		ノートパソコン	<input checked="" type="radio"/>	USBメモリ			

(3) 毒物・劇物の保有状況 (7月1日現在)

有 無 (□令和6年度に保有)

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし